

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

ひがしっ子 1月

2023



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

さて、新年を迎えて今年度も残すところあと3か月になりました。1年間の総仕上げの時期でもあり、何かと忙しく過ぎていきます。

この一か月は年末年始を挟んでということで、クリスマスに餅つき、カルタとり大会に、なわとび大会と、小粒ながらもきらりと光る行事がたくさんありました。特に大会と名がつく行事には、楽しさだけでなく悔しさもあって、自分だけが楽しめればそれでいいというものにはなりません。自分以外の対等な他人が大勢いる中で生活することは、時には葛藤を生み、試練を与えることもあります。

そんな葛藤や試練も今は大人が常に寄り添っていられます。できれば自分の力で乗り越えるのが理想ですが、難しいときは大人の手を借りて、今のうちに小さな葛藤を乗り越える経験をたくさんしてほしいと思っています。小学校以降は基本は一人です。励ますことはできますが、自分でやるしかありません。いずれ必ずそういう世界へと繋がっていくわけですから、うれしい体験もうれしくない体験もたくさん経験して、つまづいてもへこたれない子ども達に育ってほしいと思っています。

0～2歳児クラスの1か月

冬は寒い

そんな当たり前のことも、まだ分からなかったりするものです。この時期になると寒さで泣いている子もいるものです。幼稚園や保育園がどのくらい外で遊んでいるのかは保護者には見えないものではないでしょうか。東園では悪天候ではない限りは外遊びや散歩に出かけています。その中で寒さの中でも楽しいことが増えていくと、子どもたちの寒さに対する見方も変わっていくものです。



暖かい室内で

安定した生活リズムと中と外でバランスよく遊ぶ機会がある。この年齢の子どもたちにとって大切なことです。今の社会はとかくバランスが崩れやすいものです。意識していても難しいもので、特に子育て世代で、働き世代には難しいものです。そんなときも家族の中で大切にしている優先順位だけは、家族の中でしっかり話し合い、みんなを守っていくことだけは忘れずに生活してみてください。



3～5歳児クラスの1か月

冬空の下

年末年始にかけて、古代米を脱穀したり、お餅をついたり、大きな行事とは言えませんが、小さいながらも本物と出会う経験をたくさんしていた子どもたち。また、収穫してきた大根を厨房の先生にたくあんにしてもらいました。私はこの子どもたちが収穫したものを厨房に持って行って給食ででてくる一連の流れが好きです。これからも子どもたちにたくさん体験してほしいと思っています。





かるた遊び

かるたで遊んでいる子どもたちはいつも真剣そのものです。これだけ子どもたちを集中させてくれ、かつみんなと一緒にできるシンプルな遊びというのは、意外と少ないものです。しかも複数人で集中できるのでクラス全体で集中して、そのことがお互いを刺激しあって、ますます集中させてくれているように感じます。これからもかるたのようにシンプルなルールで、勝ってうれしく、負けて悔しくなれるゲームを通して、たくさんのことを学んでいってほしいと思います。

